



ステンレスを通じて世界中のどこかで誰かの役に立つ 共に働く仲間感謝し、互いに称賛し合える、ステンレスのリサイクルで社会に貢献する会社

ステンレスは、リサイクル性に富み、環境にも優しい材料です。徳山興産では、ステンレスの回収・原料化、加工、販売という一連の工程を事業としており、半導体関連では、製造装置の筐体※や部品を生産しています。独自の金属循環型事業を展開しており、創業から一貫してステンレスに向き合い、環境負荷の低減とサステナブルな社会づくりに貢献しています。※機器類が入った箱の部分



製造部 ステンレス加工工場 生産管理課 山本 美羽さん:2023年入社(新卒) 徳山工業高等専門学校(情報電子工学専攻)

■入社のきっかけ

元々、地元での就職を希望していました。高専では、情報電子工学専攻でしたが、異なる分野にチャレンジしようと思い、学校に届いている求人票ではなく、自分で就職先を探していました。工場見学などで、実際に徳山興産の方と話をすることで、現場や社員の方の雰囲気が良い会社だなと感じて入社を決めました。



■仕事の中で喜びを感じる部分

入社当時、全く読めなかった図面が分かるようになったことです。どの部品が必要か、図面を読み解いて発注をする必要があるのですが、図面を読む練習をしたり、実際に製品を見たりしながら周りの方々から教えてもらいました。今では読める図面が増え、日々成長を感じています。



■現在の仕事について

生産管理課で法人営業担当と生産管理業務に携わっています。

生産計画を立てたり、材料・部品調達をしたりするには、加工に関する知識も必要になるため、実際に工場に行って作業させてもらうこともあります。

大きな装置の中に自社で作った製品が組み込まれているところを実際に見た時は、この仕事していて良かったなと感じます。



職場体験の様子 職場体験で作成する製品例

会社のよいところ

ブラザー・シスター制度というものがあり、同じ部署の先輩とは別に年が近い職員が付いて、仕事以外の様々な相談に乗ってくれる制度があります。将来、自分が上の立場になった時の意識づけにもなります。心強い存在で、同期とブラザー何人かでご飯に行くこともあります。女性社員の割合も高く、話しやすい職場です。

後輩へのメッセージ

会社を選ぶ上で、その会社の雰囲気が一番大切だと思います。写真や文章だけでは分からないので、見学に行き実際の雰囲気を見て、自分と社風が合っているかをしっかりと確認することがおすすめです。これから一番長い時間を過ごす場でもあるので、広い視野を持ち、自分に合った会社を見つけていただけたらと思います！

【採用担当者より】人材の多様性も大切にしていることから、徳山興産では、専攻分野を問わず採用をしています。社員を大切にしたいという社長の考えに沿い、社員の心と体を大切に、職場環境の充実に向けた取組を積極的に推進しています。女性の割合も高いことから、会社として、女性活躍支援制度も整えています。

当社の価値観や企業風土に共感いただける方からのご応募をお待ちしています！



企業情報

所在地: 山口県周南市野村3丁目19-19
(ステンレス加工工場)
山口県周南市栄町2丁目31番(本社)
設立年月日: 1951年6月
代表者: 代表取締役社長 管田 英男
資本金: 4,500万円
従業員数: 168名(2025年1月時点)